ついじまつ COMMUNICATION

Vol. 31

築地松情報誌 2015年3月
発行／築地松景観保全対策推進協議会

今回の内容

- ●出雲平野の築地松景観フォトコンテストの結果
- ●松くい虫以外に知っておきたい松の病気
- ●築地松ボランティアガイドの実施
- ●出雲平野の築地松ライトアップイベントの実施
- ●陰手（のうて）刈り技術研修会の実施
- ●松くい虫防除対策研修会の実施

築地松景観保全対策推進協議会 http://www.tsuijimatsu.com

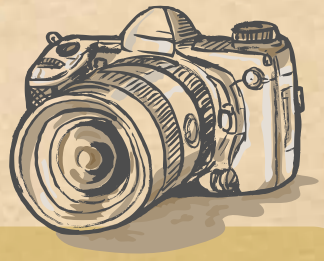
表紙写真 古川誠（日本写真家協会会員）撮影

出雲平野の築地松景観フォトコンテストの結果

平成26年２月から募集していた「出雲平野の築地松景観フォトコンテスト」は、募集の結果、出雲市内はもとより全国から152作品の応募がありました。２月４日㈫に審査委員会（写真家 古川誠委員長、８人）を開催し、以下のとおり入賞作品28作品が決定しました。

出雲地方に根付く豊穣な文化とそれを支える人の心で育まれてきた出雲平野の築地松を、四季折々の風景や人々がそこで暮らす様子などを様々な構図、色彩で表現され、いずれも素晴らしい作品ばかりでした。

ご応募いただきました皆さま誠にありがとうございました。



審査結果（敬称略）

最優秀賞（２作品、順不同）

最優秀賞候補に残った作品は甲乙つけがたく、最優秀賞を２作品とすることになりました。

組み写真：「遠い記憶」 富田 國夫（出雲市）

組み写真：「春夏秋冬」 池渕 信安（出雲市）

優秀賞（５作品、順不同）

■「夏休み」品川清一（出雲市）　■「夜明けの水田べり」行長好友（出雲市）　■「七夕」藤江松男（出雲市）
■「築地松と記念写真」佐藤正美（出雲市）　■「月食と築地松」荒川純一（広島県広島市）

入 選（20作品、順不同）

■「雨の築地松」海野智史（神奈川県横浜市）　■「朝一番」加納 賢（雲南市）　■「陰手刈りの技」渡部和夫（出雲市）
■「築地松と四季」田中孝行（松江市）　■「ひまわりに囲まれて」此下勝士（広島県広島市）
■「夜明けの築地松」橋本英治（出雲市）　■「年期の幹」渡辺敏美（鳥取県米子市）　■「実りの秋」藤原靜雄（雲南市）
■「のら仕事」末次弘道（雲南市）　■「霧の朝」江角隆明（出雲市）　■「日の出」島田 浩（出雲市）
■「彩」小玉光二（出雲市）　■「朝もやにうかぶ」原 一博（出雲市）　■「収穫の秋」江角久雄（出雲市）
■「通い路」伊藤滋敏（出雲市）　■「翔る」岡本信二（兵庫県豊岡市）　■「白鳥の来る平野」吉岡直樹（出雲市）
■「風薫る日」山田 勉（出雲市）　■「初夏の頃」鶴島里子（松江市）　■「冬日」原 実生（出雲市）

特別賞（１作品）

■「漆黒の夜に浮びあがる築地松」須田 治（出雲市）

入賞作品は、協議会ホームページに掲載しております。 http://www.tsuijimatsu.com

松くい虫以外に知っておきたい松の病気

褐斑葉枯病（かっぱんはがれびょう）

この病気は主に梅雨時期に伝染します。葉枯れの症状は激しく、また枝枯れも発生します。発病が毎年続くと木全体が枯れることがあり注意を要します。

病状・被害

●山林に自生するクロマツ・アカマツでは、発生は確認されていません。
芽摘など手入れの行き届いた庭園木のクロマツでのみ発生が確認されています。
●８月中旬から針葉上に黄褐色の斑点が生じ、のちに斑点部から葉先にかけ灰褐色の枯れが発生します。
●針葉の褐変や病葉の落葉のため、本病の被害は発病翌年の３～４月頃がもっとも目立ちます。
●被害が激しいと木全体が枯れたように見えることがあります。

伝 染

●病原はカビの１種で、前年発病した針葉上に形成された胞子によって伝染します。
●伝染時期は６～９月頃で、主には多湿な条件の続く梅雨時期です。

防 除

●伝染源となる発病葉・病落葉を取り除き、焼却処分します。
●芽摘や枝の剪定は控え、また施肥を行い、木の病気に対する抵抗力を高めます。
●この病害防除の登録の薬剤はありません。なお、褐斑葉枯病と併発する"葉ふるい病"があります。
この病気には防除薬剤（銅水和剤500または1000倍、商品名ドウグリーン・キノンドー）があります。
葉ふるい病の防除目的で、この薬剤を散布すると、褐斑葉枯病の発生も抑制されます。

■激しい葉枯

■葉枯の様子

その他

●褐斑葉枯病と似た病気にマツ赤斑葉枯病があります。褐斑葉枯病は８月から発病しますが、赤斑葉枯病は11月頃から発病するので区別できます。
●褐斑葉枯病はアメリカ合衆国ではマツ類の苗木などを枯死させる重要病害として19世紀以来と古くから知られています。わが国では、1996年島根県雲南市三刀屋町のクロマツで初めて本病の発生が確認されました。最近の実態調査や島根県中山間地域研究センターに寄せられる病害相談から、現在本県で広く発生し、　地域によっては5割以上のマツで発生していることがわかりました。

※島根県中山間 地域 研究センター HP より抜粋

詳しくは、出雲市 樹医センター（出雲地区森林組合内 TEL22-6497）
または最寄の樹木医におたずねください。

平成２６年度の主な事業概要

築地松ボランティアガイドの実施

築地松に対する関心を高めてもらうことを目的に、観光客や大学等の研究者などの皆さんに築地松の成り立ちや役割、維持管理をするための基礎的な情報などをわかりやすく解説していただくため、協議会では、現在斐川町の瀬崎勝正さんと灘分町の稲田輝夫さんの２名の方にボランティアガイドをお願いしています。

平成26年度も約150名の方がボランティアガイドのもとを訪れられました。中にはオランダや中国からの来訪者もあり、築地松に対する関心がさらに広まりつつあることを感じています。

また、ボランティアガイドの心温まるおもてなしに感動されお礼の手紙が届くなど、人と人の交流も深まっています。

出雲平野の築地松ライトアップイベントの実施

協議会では、世界的にも出雲平野にしかない築地松を積極的にＰＲし、保全意識の向上、観光資源としての価値を高めようと、平成26年11月22日(土)・23日(日)、いずれも午後５時～８時にかけて灘分町下出来洲の特設会場にて築地松ライトアップイベントを行いました。

天候にも恵まれ、イベントには出雲市はもとより、市外、遠くは大阪府からの来場もありました。暗闇の中、築地松が幻想的に浮かび上がり、来場された皆さまを魅了しました。

陰手刈り技術研修会の実施

平成26年11月29日(土)に斐川町福富地内を会場に「陰手刈り技術研修会」を開催しました。

参加者９人は、森林作業員や造園関係者などで、ベテラン講師から陰手刈りの基本的な知識と「技」を学ぶことができました。

協議会では、築地松の日常管理で大切な陰手刈りの技術を後世に伝えていくために出雲地区森林組合と協働して今後も実技研修会を開催していきます。

松くい虫防除対策研修会の実施

平成26年12月13日(土)に島根県中山間地域研究センターから陶山研究員と林研究員を講師に招き、「松くい虫防除対策研修会」を実施しました。

松くい虫による松枯れ発生のメカニズムや症状、その他松の病気についての説明の後、参加者による活発な質疑応答がなされました。

参加者の皆様からは、今後も開催してほしいとの要望もあり好評でした。

築地松景観保全住民協定の認定状況（平成27年２月末時点）

○住民協定数	一般協定　７５協定	特定協定　８４協定	合計　１５９協定
○協定加入者	一般協定 １，１４３人	特定協定 ２，１９５人	合計３，３３８人

築地松景観保全対策推進協議会

［事務局］出雲市都市建設部建築住宅課景観係 〒693-8530 出雲市今市町70番地 Tel.0853-21-6176 Fax.0853-21-6594